

ドライフレックス®& ドライフィックス®(プライマー) 補修仕様書・コンクリート補修用



 **REPAIR CARE**

速い、きれい、しかも抜群の作業性

コンクリート補修事例1：車庫土間クラック補修



1

樹脂コーティングを除去し、接着の厚みと幅を確保するため10mm×10mm程のはつりをいれる



5

ドライフレックス®を充填・成形する



2

ドライフィックス®を全体に塗布する



6

充填作業の続き



3

塗布20分後浸透しない余剰のドライフィックス®はウエス等でふき取る



7

必ずペーパーをあててから塗装をする



4

ドライフレックス®を薄く押し込む。プライマーとの境目にエアが残ると密着に悪影響を及ぼします

速い、きれい、しかも抜群の作業性

コンクリート補修事例2・生簀クラック補修



1

伊勢海老の生簀。至る所に亀裂が生じている



5

ドライフレックス®を混合する。必要に応じて調色も可能



2

接着の厚みと幅を確保するため10mmx10mm程のはつりを入れる



6

ドライフレックス®を充填・成形。プライマーとの境目にエアを残さないよう注意



3

ゴミやホコリを除去する



7

施工完了



4

ドライフィックス®を塗布。塗布20分後、余剰のプライマーをふき取る

速い、きれい、しかも抜群の作業性

コンクリート等補修事例3・陶板モニュメント欠損部の補修



1

高校外壁の陶板製モニュメント
接着部の劣化が見られる



5

ドライフレックス®を充填・成形する
プライマーとの境目にエアを残さないよう注意



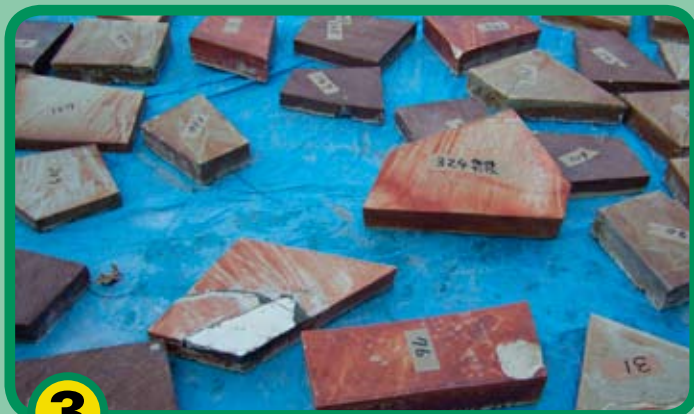
2

陶板を取り外し掃除する



6

補修完了。後日、表面を研磨して塗装する



3

取外しの際にできた欠損部分



7

完成



4

ドライフィックス®を補修箇所に塗布。塗布20分後、浸透しない余剰分をウエス等でふき取る

(写真提供1部：(有)大類工業)

コンクリート補修事例4・ビル外壁クラック補修



1

商業ビル外壁のクラック



5

ドライフレックス®を押し込むように薄く塗布する
プライマーとの境目にエアを残さないよう注意



2

コーティングを除去しながら、接着の厚みと幅を確保する
ため10mm×10mm程のはつりを入れる



6

ドライフレックス®を充填・成形する



3

はつり終了後、ゴミや粉塵を除去する



7

硬化後、表面を必ず研磨してから塗装する（硬化剤のシミ
防止と塗料との密着度のため）



4

ドライフィックス®を塗布。塗布20分後、浸透しない余剰
分はウエス等でふきとる

速い、きれい、しかも抜群の作業性

ドライフレックス®&ドライフィックス®(プライマー) 基本使用手順(木部・コンクリート共通)



1

補修箇所の含水率が18%以下であることを確認する。補修面の塗料、コーティング、油やゴミを除去する



5

ドライフレックス®を充填、成形。完全に硬化するまで、含水率18%を保つ(硬化不良及び変色のリスク防止)



2

腐れや傷みのはげしい部分を除去、または密着面を確保するため5-10mm x 10mm程のはつりをいれる。作業時発生するゴミや廃棄物を除去すること



6

硬化後、補修面にペーパーをあてるか研磨してから塗装する(硬化剤のアミン成分を表面から除去することでアクの発生や、密着への影響を軽減するため必ず行ってください)



3

補修箇所全体にドライフィックス®(プライマー)を塗布する。塗布20分後、浸透していない余剰部分をウエス等でふき取る(密着力に大きく影響するため)



7

塗装をする。塗装密着幅1週間以内



4

ドライフレックス®を押込みながら薄く塗布。(ドライフレックス®は高粘度で素材に馴染み難い為、必ず行ってください)

ご使用になる前に仕様書および取扱説明書をよくお読みください。これらの製品は使用方法、使用条件によって本来の性能を発揮できない場合があります。事前に目的の用途に適合するか必ずご確認のうえご使用ください。

REPAIR CARE
INTERNATIONAL

リペアケアインターナショナル

(有)リペアケア・インターナショナル
〒231-0011 横浜市中区太田町6-79
マスミューチュアル生命ビル604
Tel: 045-228-0833 Fax: 045-228-0836
info.jp@repair-care.com www.repair-care.com

速い、きれい、しかも抜群の作業性